

5月のおすすめ花まる本

新着図書は1日・19日に並びます。

一般書	児童書
<p>『雲を紡ぐ』 <small>いぶき ゆき</small> 伊吹 有喜 著</p> <p>壊れかけた家族は、もう一度、一つになれるか？羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を超える布」ホームスパンをめぐる、親子三代の心の糸の物語。『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。</p> 	<p>『きらきらもりでまってるよ!』 <small>やべ みちよ</small> 矢部 美智代 作 <small>にき まゆ</small> 絵</p> <p>野原のまんなかに通っている1本の線路。こぐまのくるんは、友だちのころころと、きらきらもりで遊ぶ約束をしています。おかあさんと作った焼きたてのパンをふくろいっぱいにつめて、列車に乗り込みますが…。</p> 
<p>『山岳捜査』 <small>ささもと りょうへい</small> 笹本 稜平 著</p> <p>長野県警山岳遭難救助隊の桑崎は、鹿島槍北壁からの下山途中、女性の他殺死体を発見する。その前日、同じ場所で不審な3人組を目撃している…。『STORY BOX』掲載を加筆し単行本化</p> 	<p>『うりぼうウリタもりのがっこう』 <small>おくやま ゆか</small> 作</p> <p>いのししの子、うりぼうのウリタはくいしんぼうで、あわてんぼ。春から通っている森の学校では、新しい友だちがたくさんできて…。『ウリタのおとしもの』『雨の日つなひき』など、ウリタの楽しい毎日を描いた全4話を収録。</p> 
<p>『長生きしたいわけではないけれど。』 <small>その あやこ</small> 曾野 綾子 著</p> <p>生き方の好みがその人の「芯」になる、人間に大切なのは「本質」だけ、自分の不幸を特別視しない…。自分なりの生き方を貫いてきた著者が、「人生100年時代」を穏やかにまっとうするための心得を伝える。</p> 	<p>『ぱっとみてわかる はじめての応急手当1～3』 WILLこども知育研究所 編</p> <p>応急手当の方法を、イラストでわかりやすく解説。1はけがの応急手当、2は病気の応急手当、3は命を守る応急手当について取り上げる。</p> 
<p>ごぼうおはなしの会 しばらくの間 お休みです。 </p>	
 <p>左記のQRコードを読み込むと、御坊市立図書館の蔵書検索ページにアクセスできます。</p>	<p>『出会えたね。とびっきりの1冊に。』</p> <p>2020年、「こどもの読書週間」は第62回をむかえます！ 小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、こどもが大きくなるためにとっても大切なことです。「こどもの読書週間」は、大人が本をこどもに手わたす週間でもあるのです。</p> 
 <p>Facebook はじめました！</p>	